



R. I. 第2630地区 **高山中央ロータリークラブ**
WEEKLY REPORT

2012～2013 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「質素な運営 豊かな奉仕」

◆会長 足立 常孝 ◆幹事 田中 雅昭 ◆会報委員長 坂家 賢司 ◆会報担当 黒地 重雄

創立 1991 年 5 月 20 日

- ◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488
- ◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600
- ◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～
- ◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 957 回	51 名	51 名	42 名	—	82.35%
前々回 955 回	51 名	51 名	43 名	3 名	90.38%

<点 鐘> 会長 足立 常孝
<ロータリーソング> それでこそロータリー
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>

<本日のゲスト>
精神保健福祉士 野中 常雄 様

<会長の時間> 会長 足立 常孝

今日の例会担当委員会は、ロータリー情報委員会です。富士井委員長よろしくお願ひいたします。



昨年の最終例会で、エネルギーの話をしていただきましたが、今日もエネルギーのお話をさせていただきます。薪を炊いて暖をとる。とか、菜種油で火を灯す。とかの江戸時代以前は、エネルギーとは言わなかった。自給自足の範疇であり、必要なだけ集めて、あるだけ消費して生活していました。

明治以降、蒸気機関車が走り、ガス灯が点り、電気を使用しかけ、自動車走り、飛行機で海外旅行に出かけ、海外の食材を口に入れ、オール電化で、便利この上無い生活を日常している現在。省エネがどうのこうのと言っても、世界での消費エネルギーは、鰻登りの状況です。

再生可能エネルギー促進で、脱原発や化石燃料の排除を求める声も高まって、巨額の助成金を投入し、固定価格買取制度等で太陽光と風力発電の普及を図ろうとしています。

化石燃料などは、エネルギーの密度が高く、大きなエネルギーを取り出しやすいのですが、1 回使い切りの再生不可能なエネルギーです。

2011 年国際エネルギー機関 (IEA) が発表した調査によると、デンマークでは、エネルギー需要の 65% を再生可能エネルギーに置き換えできる。米国は、45%・英国は、30%・ドイツは、25%・日本は、国土面積と人口・使用消費電力・平均風速 等考慮して太陽光や風力などの再生可能エネルギーで 19% しか代替できない。と発表しています。

その様な現状ですが、水から酸素と水素を分離して水素ガスを安全で、安価に確保できれば、国内で、再生可能エネルギーで 100% 調達できます。政府指導で、大都市に水素ガスステーションが年内に設置されます。このエリア

は、名古屋市内に 1ヶ所建設されます。SS の敷地内で、水から水素ガスを製造し水素ガス車に充電するそうです。水素ガス製造施設だけで、10 数億円かかるのか？

近い将来、安価で、安全に水素ガスが普及されれば、環境問題も解決されると思われます。

<幹事報告> 幹事 田中 雅昭

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
・2013 年度地区協議会開催のご案内

日時：4 月 21 日 (日)
12:00～
会場：桑名市民会館
登録料：10,000 円



○米山梅吉記念館より

・春季例祭について
日時：4 月 27 日 (土) 14:00～
会場：米山梅吉記念館ホール
記念講師：弦間明氏 (東京 RC) (株)資生堂社長
・米山梅吉記念館 館報 2013 春

<ぎふ清流国体高山市実行委員会より>

・第 5 回総会資料及び高山市開催競技会報告書

<飛騨高山国際協会>

・平成 25 年度飛騨高山国際協会実務者連絡会議の開催について

日時：4 月 10 日 (水) 13:30～14:30
会場：高山市役所 4 階中会議室

・第 19 回「ハンガリーの夕べ」のご案内

日時：4 月 4 日 (木) 16:30～
会場：中尾高原ホテル

<本日のプログラム>
ロータリー情報委員会

委員長 富士井 忠男



卓話 講師 野中 常雄 様 「震災の現場に関わらせていただいて」

【仮設住宅—孤立させない工夫】

南相馬市では福島第一原子力発電所から 30 km 圏外の鹿島区に、仮設住宅が点在します。

基本的には、同じ集落の住民同士が近くで暮らせるように心配りがなされています。また、ご家族を亡くされた方が集中する仮設もあり、同じ境遇の人たち同士でお互いが支え合えるような配慮があります。特徴的な工夫として、ペットを飼う人ばかりの仮設住宅が何ヶ所もあり、そこには、まさに犬だらけでした。飼い主にとって、ペットは家族も同然。細やかな配慮を感じます。

さらに、保健センターによるサロン活動があります。どの仮設住宅にも集会所が設けられており、定期的にサロン活動が行われます。血圧などの健康チェック、お茶を飲みながらのおしゃべり、あるいは、ボランティアによるヨガやマッサージ、読み聞かせ等も行われ、活発に盛り上がっています。が、中心は、女性の高齢者なので、中年以下の世代や男性には少し参加しにくい状態であり、今後の課題とされます。しかしながら、高齢の女性が元気になることで、地域の活力が底上げされる気がします。

【あいちゃんのこと】

ある地域の保健師さんの依頼で面会したあいちゃん(仮名)。7歳。きりっと利発そうな女の子です。

保健師さんやワーカーの話によると、津波のとき、あいちゃんは自宅から山手へ逃げ、フェンスにしがみつき、耳まで水につかりながら、消防隊に助けられて、一命をとりとめたとのこと。耳の中からは何か月たっても黒い汚れが出てくるほど。お母さんと6歳の妹は途中でつまずき、逃げ遅れて、津波にさらわれたそうです。あいちゃんは、フェンスにしがみつきながら、全てを見ていたといっています。

あいちゃんのお父さんは、家族を守ろうと、職場から自宅へ向かう途中で津波にまきこまれたらしく、いまだに行方不明。あいちゃんは震災孤児となり、母方の実家に預けられました。祖母や未婚の叔母は、戸惑いながらも、あいちゃんを温かく受けとめようとしています。

あいちゃんは、これまで多くの大人から、怖かった時のことを聞かれ、しっかり話してきたそうです。そのため、もう、怖いことは話したくないし、思い出したくないといっています。あいちゃんのお好きなお絵描きをいっぱいして、そして、折り紙をしたり、クラフト風船で、たくさん遊びました。

あいちゃんは、とても聞き分けがよく、素直で、従順。行儀もいい。迷惑をかけまいと、小さいながらも、きつとすぐく気を使っているのかもしれませんが。けなげな姿に、涙があふれそうになるのを、必死でこらえるしかありませんでした。

PTSD という障害があり、被災された方、残された子どもたちの今後の精神的なケアが大事だといわれます。一方、最近では、PTG (Posttraumatic Growth=心の傷を乗り越えて成長すること) という考え方が心理学の分野で注目され始めています。過酷な状況の中でも、温かな環境や信頼関係によって、その後の人生で大きな成長を遂げることができるとされています。(中日新聞 2011年5月8日 日曜版 図解)

PTG の可能性を信じ、願いを込めたいと思います。



<ニコニコBOX>

本日はロータリー情報委員会担当例会です。講師の野中常雄様どうぞよろしくお願ひ致します。 **理事役員一同**

本日はロータリー情報委員会の講師例会です。精神保健福祉士の野中さん、卓話をお願いします。お忙しい中をお越し頂きましてありがとうございます。 **富士井 忠男**

野中さん、本日はよろしくお願ひ致します。 **中田 専太郎 永家 将嗣**

本日のゲストスピーカー野中常雄様、卓話をよろしくお願ひ致します。昨日は、孫二人を連れて中京競馬場へ行って来ました。天候は良かったのですが、大荒れの配当ばかりで、心は曇りのち雨でした。次回頑張るぞ。 **松之木 映一**

本日の講師 野中様よろしくお願ひ致します。また、妻の誕生日にいつもきれいな花をありがとうございます。 **久々野 国良**

13日に3人目の孫が誕生しました。3人とも男です。母子ともに健康であることに感謝してニコニコへ。

足立 常孝

久々にホーム出席です。その間に結婚記念日のお祝いを頂きありがとうございます。 **大保木 正博**

昨日は快晴の中、第10回聖宮祭を無事終了することが出来ました。これも皆様のご支援のお蔭と感謝申し上げます。ありがとうございます。 **都竹 太志**

16日「つま恋」施設下見の際には刃田さん、橋本さん、河上さんには大変お世話になり有意義な視察となりました。どうもありがとうございます。また、3/15の妻の誕生日には綺麗な花をありがとうございます。 **高原 清人**

今月は結婚記念品を頂きましたのでニコニコへ。 **三枝 祥一**

本日も会議のため早退させていただきます。 **西倉 良介**